

まきびと カルデアの牧人 ～校長だより～ No.14

伝える力・聴く力（探究アワード 2022）

本校で実施されている雲南式探求（総合的な探究の時間）の集大成である「探究アワード」が2月9日に開催されました。本校の2年生は「地域パートナー探究」に取り組んでおり、各グループが選んだ地域パートナーの方にインタビューを重ね、地域パートナーの方を笑顔にする「笑顔プラン」を実行します。探究アワードはその発表の場であり、多くの地域パートナーの方にも足を運んでいただきました。この「地域パートナー探究」では生徒は次のような過程を経て学ぶ力を身につけていきます。

① 地域パートナーへのインタビュー

→自分から課題を見つけていく力（**主体性・課題発見能力**）

② グループや地域パートナーとの協議・協働

→多様な考え方を認め合いながら協議・協働する力（**他者理解・協調性・協働性**）

③ 笑顔プランの実行

→ 定まった答えのない課題に粘り強く向かっていく力（**課題解決力**）

発表は全部で21グループ。11の教室に分かれ、1年生が各発表会場を異動する形で行われました。地域図書館の活性化プロジェクト、地域のお店や神社の魅力発信、保育園での実践活動、「たねダンゴの世界へようこそ」という興味深いタイトルの発表等々バラエティに富んだ活動発表でした。（発表の様子は[「活動報告」](#)の画像をご覧ください）

探究アワードは発表の場なので、「伝える力を身につける」ことも目標になっていますが、各グループそれぞれに聴衆に活動内容をいかにわかってもらうか工夫した内容になっていました。また、地域サポーターの一人から「発表も良かったが、1年生が発表に対して手を上げて自分の意見や感想をしっかりと伝えているのに驚いた」と感想をいただきました。事前に1年生の学年会で「聴く」側の姿勢を指導していただいた成果だと思いますが、発表の後に促されなくとも感想や意見が自然と出て、発表者と聴き手が互いに学び合い高め合う場となるのが理想の姿であると思います。このような活動を通じ、それが当たり前の学校になってくれることを願っています。